

1 概況 - 生産、出荷指数ともに上昇 -

平成15年の埼玉県鉱工業指数（平成12年平均=100）は、前年に比べ生産が3.4%、出荷が7.9%在庫率が0.4%上昇し、在庫が1.0%低下した。

四半期別に1年間の動きをみると、生産は、1～3月期は上昇、4～6月期は低下したが、7～9月期、10～12月期には上昇した。出荷も、1～3月期は上昇、4～6月期は低下したが、7～9月期、10～12月期には上昇した。在庫は、1～3月期は上昇、4～6月期、7～9月期は低下したが、10～12月期には上昇した。また、在庫率は、1～3月期は上昇したが、4～6月期、7～9月期、10～12月期には低下した。

業種別にみると、生産は、19業種中10業種で上昇し、9業種で低下した。上昇には電気機械工業（対前年比34.1%、以下同じ）、一般機械工業（11.3%）などが、低下には金属製品工業（18.2%）、輸送機械工業（2.5%）などが寄与した。

出荷は、19業種中11業種で上昇し、8業種で低下した。上昇には電気機械工業（31.0%）、輸送機械工業（10.6%）などが、低下には金属製品工業（12.5%）、食料品工業（1.5%）などが寄与した。

在庫は、19業種中7業種で上昇し、12業種で低下した。上昇には一般機械工業（15.3%）、家具工業（7.8%）などが、低下には輸送機械工業（19.8%）、非鉄金属工業（12.3%）などが寄与した。

表1-1 鉱工業総合指数の推移（12年=100 季調済、年の数字は原指数による）

種別		14年	15年	15年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	88.8	91.8	92.1	91.1	91.9	92.3
	増加率(%)	7.0	3.4	4.3	1.1	0.9	0.4
出荷	指数	87.1	94.0	94.4	93.5	94.0	94.1
	増加率(%)	7.3	7.9	7.8	1.0	0.5	0.1
在庫	指数	105.2	104.2	108.7	105.5	100.3	102.2
	増加率(%)	1.3	1.0	2.3	2.9	4.9	1.9
在庫率	指数	124.4	124.9	130.5	126.9	122.0	120.2
	増加率(%)	5.8	0.4	3.7	2.8	3.9	1.5

図1-1 鉱工業総合指数の推移（12年=100 季調済、年の数字は原指数による）

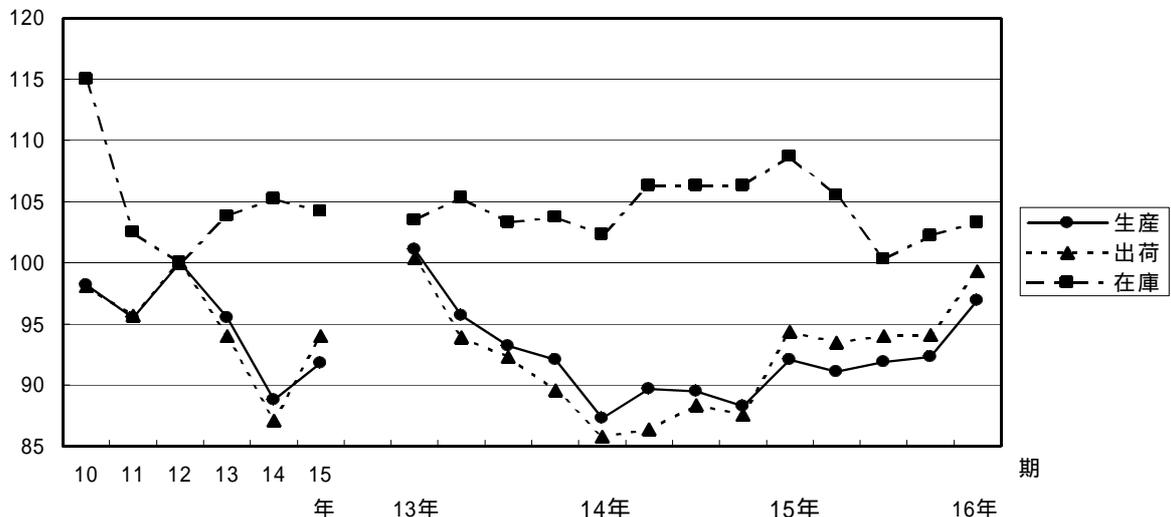
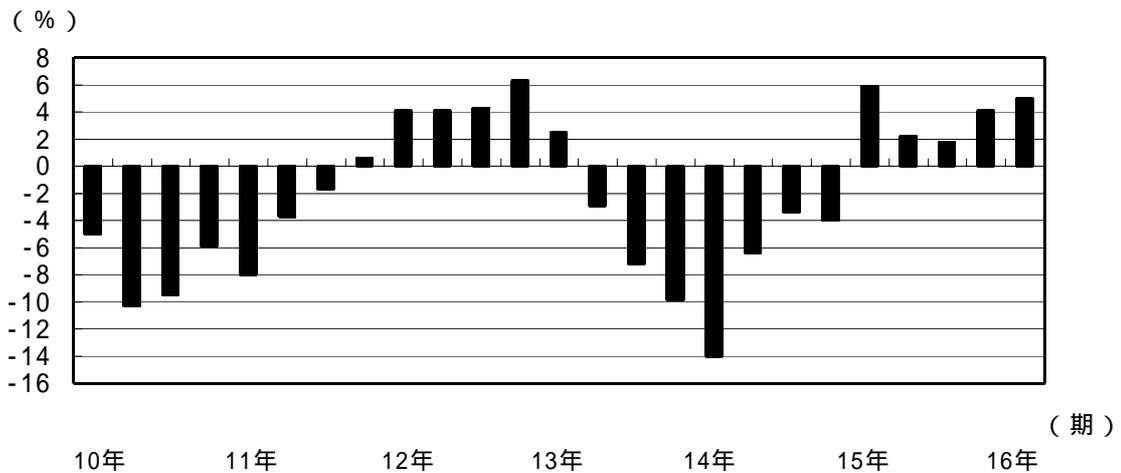


表 1 - 2 上昇・低下に寄与した業種及び品目

生産：10業種が上昇、9業種が低下		
上昇した主な業種	電気機械 34.1% (4.2%) 一般機械 11.3% (0.9%)	携帯電話 空気圧機器
低下した主な業種	金属製品 18.2% (1.1%) 輸送機械 2.5% (0.3%)	食缶 乗用車
上昇した主な品目	携帯電話 端末装置 空気圧機器	
低下した主な品目	乗用車 食缶 炭酸飲料	
出荷：11業種が上昇、8業種が低下		
上昇した主な業種	電気機械 31.0% (4.5%) 輸送機械 10.6% (2.8%)	携帯電話 普通トラック
低下した主な業種	金属製品 12.5% (0.5%) 食料品 1.5% (0.1%)	橋りょう 炭酸飲料
上昇した主な品目	普通トラック 携帯電話 端末装置	
低下した主な品目	乗用車 炭酸飲料 交換機	
在庫：7業種が上昇、12業種が低下		
上昇した主な業種	一般機械 15.3% (3.1%) 家具 7.8% (0.1%)	油圧機器 金属製いす
低下した主な業種	輸送機械 19.8% (2.6%) 非鉄金属 12.3% (0.6%)	乗用車 アルミニウム圧延製品
上昇した主な品目	空気圧機器 はん用内燃機関 混成集積回路	
低下した主な品目	乗用車 油圧機器 カーステレオ	

注) 数字は対前年比。()内は寄与度。

図 1 - 2 生産指数前年同期比の推移



2 主要業種の動向

(1) 金属製品工業 - 生産、出荷とも3年連続の低下 -

平成15年の金属製品工業は、前年に比べ、生産が18.2%、出荷が12.5%、在庫が0.8%低下し、在庫率が7.7%上昇した。

品目別にみると、生産は、飲料用アルミニウム缶、粉末や金製磁性材料などが上昇に寄与し、食缶、橋りょうなどが低下に寄与した。出荷は、粉末や金製磁性材料、缶継手などが上昇に寄与し、橋りょう、アルミニウムエクステリアなどが低下に寄与した。在庫は、食缶、一般缶などが上昇に寄与し、アルミニウムエクステリア、石油温風暖房機などが低下に寄与した。

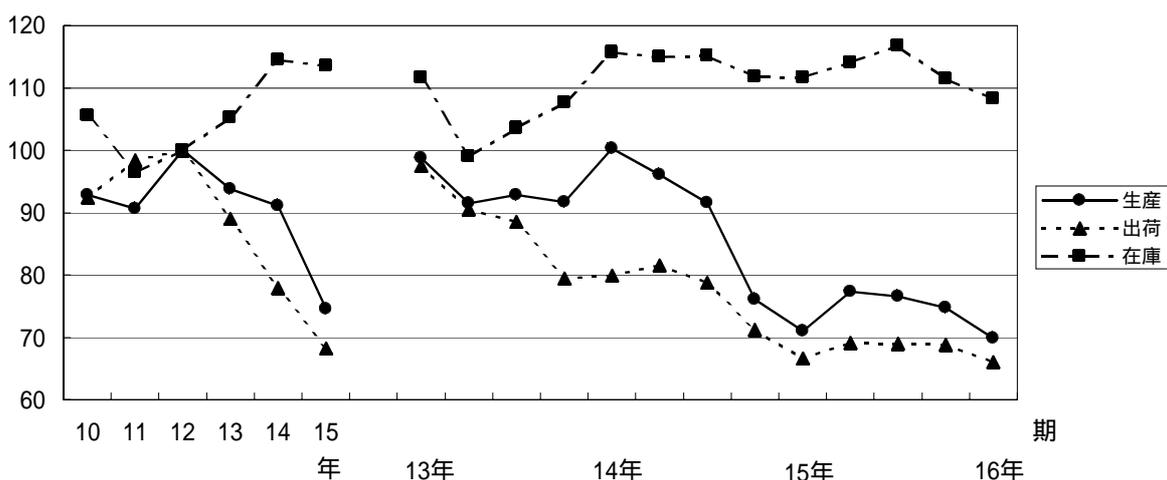
表2 - 1 金属製品工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		14年	15年	15年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	91.1	74.5	71.0	77.3	76.6	74.7
	増加率(%)	2.8	18.2	6.7	8.9	0.9	2.5
出荷	指数	77.9	68.2	66.6	69.1	69.0	68.8
	増加率(%)	12.5	12.5	6.5	3.8	0.1	0.3
在庫	指数	114.4	113.5	111.7	114.1	116.7	111.5
	増加率(%)	8.6	0.8	0.1	2.1	2.3	4.5
在庫率	指数	161.7	174.2	169.1	169.0	187.9	175.6
	増加率(%)	39.0	7.7	2.6	0.1	11.2	6.5

図2 - 1 金属製品工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(2) 一般機械工業 - 生産、出荷、在庫、在庫率すべて上昇 -

平成15年の一般機械工業は、前年に比べ、生産が11.3%、出荷が10.0%、在庫が15.3%、在庫率が3.9%上昇した。

品目別にみると、生産は、空気圧機器、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などが上昇に寄与し、飲料用自動販売機、油圧機器などが低下に寄与した。出荷も、空気圧機器、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などが上昇に寄与し、飲料用自動販売機、油圧機器などが低下に寄与した。在庫は、空気圧機器、はん用内燃機関などが上昇に寄与し、油圧機器、ポンプなどが低下に寄与した。

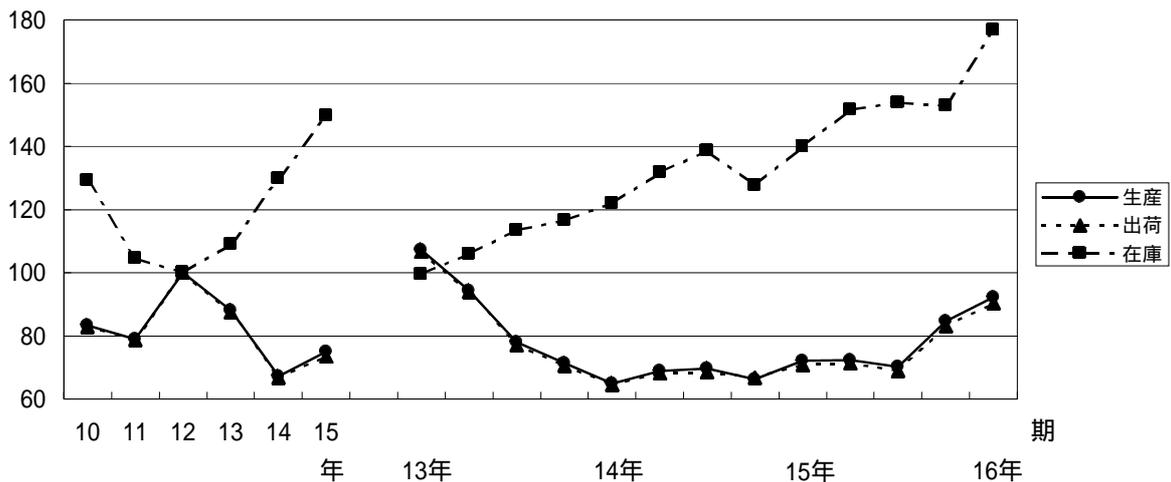
表2-2 一般機械工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		14年	15年	15年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	67.3	74.9	72.2	72.4	70.3	84.7
	増加率(%)	23.6	11.3	8.9	0.3	2.9	20.5
出荷	指数	66.8	73.5	70.8	71.4	68.9	83.1
	増加率(%)	23.6	10.0	6.0	0.8	3.5	20.6
在庫	指数	129.7	149.6	140.0	151.5	153.8	152.8
	増加率(%)	19.0	15.3	9.7	8.2	1.5	0.7
在庫率	指数	163.2	169.5	167.9	193.5	170.4	149.5
	増加率(%)	21.4	3.9	14.1	15.2	11.9	12.3

図2-2 一般機械工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(3) 電気機械工業 - 生産、出荷、在庫、在庫率すべて上昇 -

平成15年の電気機械工業は、前年に比べ、生産が34.1%、出荷が31.0%、在庫が0.5%、在庫率が0.4%上昇した。

品目別にみると、生産は、携帯電話、端末装置などが上昇に寄与し、交換機、ヘッドホンステレオなどが低下に寄与した。出荷は、携帯電話、端末装置などが上昇に寄与し、交換機、一般用白熱灯器具などが低下に寄与した。在庫は、混成集積回路、線形半導体集積回路などが上昇に寄与し、カーステレオ、電子レンジなどが低下に寄与した。

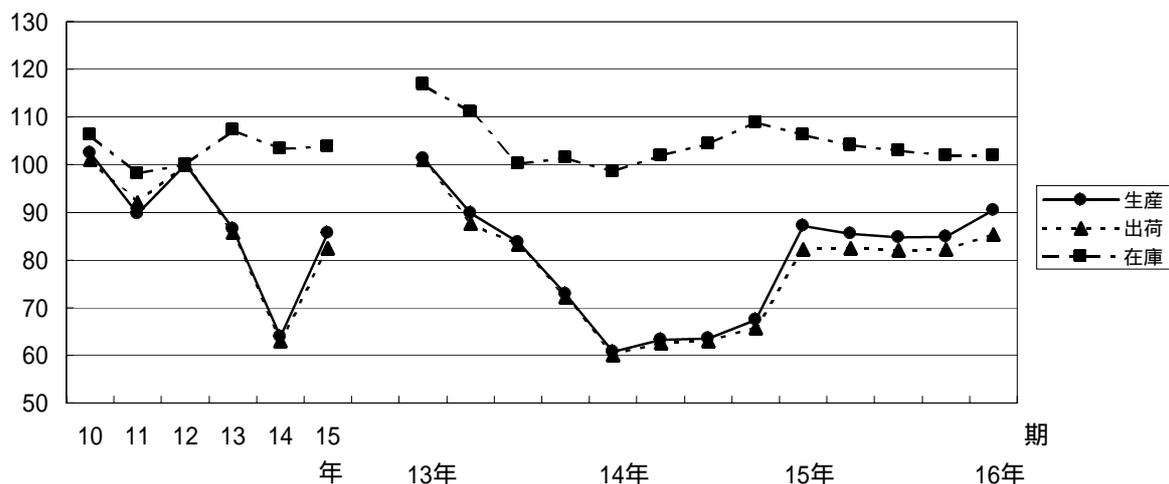
表2 - 3 電気機械工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		14年	15年	15年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	63.9	85.7	87.1	85.5	84.8	84.9
	増加率(%)	26.1	34.1	29.2	1.8	0.8	0.1
出荷	指数	63.0	82.5	82.2	82.5	82.1	82.2
	増加率(%)	26.6	31.0	24.9	0.4	0.5	0.1
在庫	指数	103.3	103.8	106.2	104.1	103.0	101.9
	増加率(%)	3.7	0.5	2.5	2.0	1.1	1.1
在庫率	指数	129.1	129.6	135.7	125.7	128.7	128.5
	増加率(%)	4.1	0.4	1.2	7.4	2.4	0.2

図2 - 3 電気機械工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(4) 輸送機械工業 - 生産は低下、出荷は上昇 -

平成15年の輸送機械工業は、前年に比べ、生産が2.5%、在庫が19.8%、在庫率が14.1%低下し、出荷が10.6%上昇した。

品目別にみると、生産は、普通トラック、輸送機械用エアコンなどが上昇に寄与し、乗用車、計器類などが低下に寄与した。出荷は、普通トラック、輸送機械用エアコンなどが上昇に寄与し、乗用車、完成自転車などが低下に寄与した。在庫は、けん引車、普通トラックが上昇に寄与し、乗用車、完成自転車などが低下に寄与した。

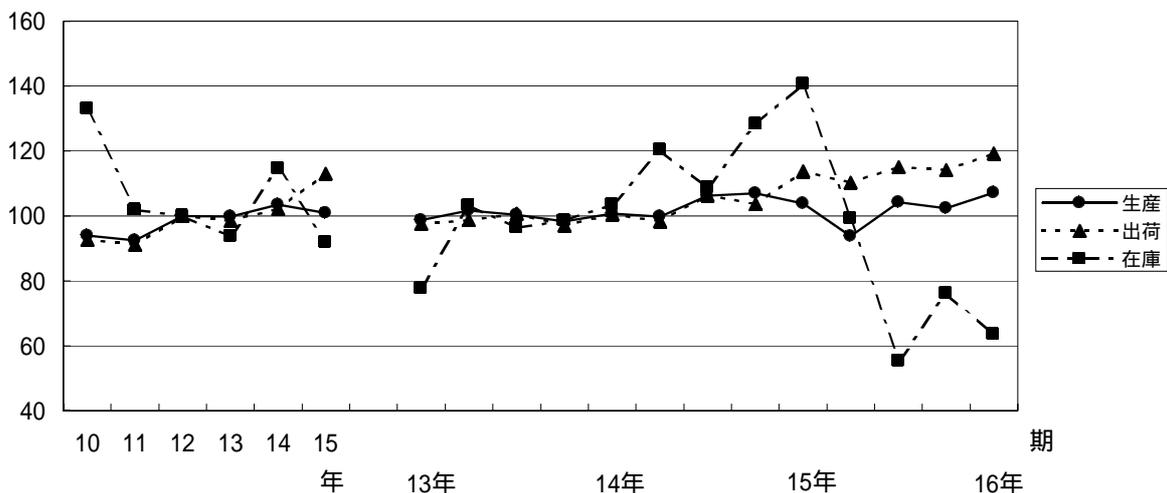
表2 - 4 輸送機械工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		14年	15年	15年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	103.5	100.9	103.8	93.7	104.3	102.3
	増加率(%)	3.7	2.5	3.0	9.7	11.3	1.9
出荷	指数	102.3	113.1	113.7	110.3	115.0	114.2
	増加率(%)	3.8	10.6	9.7	3.0	4.3	0.7
在庫	指数	114.7	92.0	140.5	99.3	55.5	76.1
	増加率(%)	22.4	19.8	9.5	29.3	44.1	37.1
在庫率	指数	106.5	91.5	131.8	95.0	63.1	80.7
	増加率(%)	15.0	14.1	11.5	27.9	33.6	27.9

図2 - 4 輸送機械工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(5) 化学工業 - 生産、出荷とも上昇 -

平成15年の化学工業は、前年に比べ、生産が0.5%、出荷が0.3%、在庫率が2.5%上昇し、在庫が0.6%低下した。

品目別にみると、生産は、化粧品、印刷インキなどが上昇に寄与し、医薬品、電気絶縁塗装などが低下に寄与した。出荷は、化粧品、印刷インキなどが上昇に寄与し、医薬品、身体洗浄剤などが低下に寄与した。在庫は、複合肥料、印刷インキなどが上昇に寄与し、身体洗浄剤、ウレタンフォームなどが低下に寄与した。

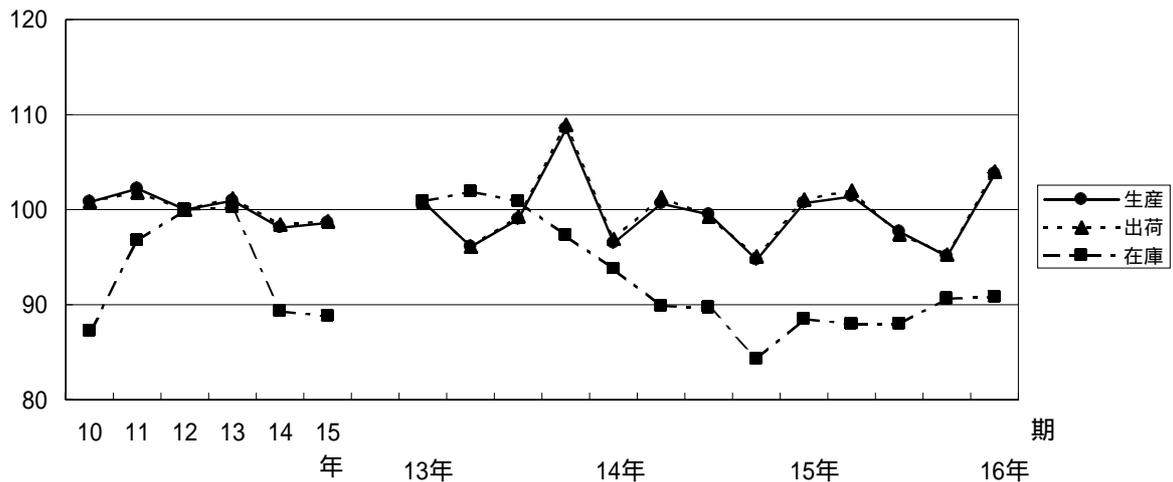
表2 - 5 化学工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		14年	15年	15年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	98.1	98.6	100.7	101.4	97.7	95.1
	増加率(%)	2.9	0.5	6.3	0.7	3.6	2.7
出荷	指数	98.5	98.8	101.1	102.0	97.4	95.3
	増加率(%)	2.7	0.3	6.3	0.9	4.5	2.2
在庫	指数	89.3	88.8	88.5	88.0	88.0	90.6
	増加率(%)	10.9	0.6	5.0	0.6	0.0	3.0
在庫率	指数	96.2	98.6	98.1	96.5	99.6	100.8
	増加率(%)	5.8	2.5	3.4	1.6	3.2	1.2

図2 - 5 化学工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(6) プラスチック製品工業 - 生産が4年連続の低下、出荷は2年連続の上昇 -

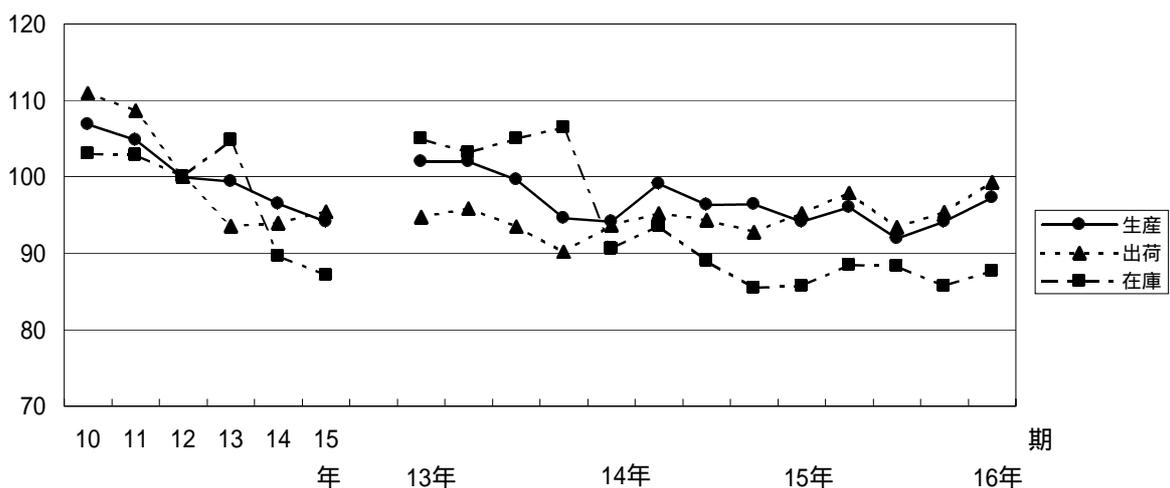
平成15年のプラスチック製品工業は、前年に比べ、生産は2.5%、在庫は2.8%、在庫率は0.4%低下し、出荷は1.6%上昇した。

品目別にみると、生産は、浄化槽、強化プラスチック製品が上昇に寄与し、プラスチック製シート、プラスチック製フィルムなどが低下に寄与した。出荷は、プラスチック製容器、浄化槽などが上昇に寄与し、プラスチック製シート、プラスチック製機械器具部品などが低下に寄与した。在庫は、プラスチック製建材、プラスチック製シートなどが上昇に寄与し、プラスチック製容器、プラスチック製機械器具部品などが低下に寄与した。

表2 - 6 プラスチック製品工業の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		14年	15年	15年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	96.5	94.1	94.1	96.0	91.9	94.1
	増加率(%)	2.9	2.5	2.4	2.0	4.3	2.4
出荷	指数	94.0	95.5	95.2	97.9	93.4	95.4
	増加率(%)	0.4	1.6	2.6	2.8	4.6	2.1
在庫	指数	89.6	87.1	85.7	88.5	88.3	85.7
	増加率(%)	14.5	2.8	0.2	3.3	0.2	2.9
在庫率	指数	95.9	95.5	93.5	96.2	99.3	93.2
	増加率(%)	16.1	0.4	1.3	2.9	3.2	6.1

図2 - 6 プラスチック製品工業の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



3 財別動向

(1) 生産 - 資本財が2年ぶりに上昇 -

平成15年の生産動向を財別にみると、資本財（対前年比15.1%、以下同じ）が上昇に寄与し、建設財（3.9%）などが低下に寄与した。資本財では、端末装置、普通トラックなどが上昇に寄与し、建設財では、橋りょう、アルミニウムエクステリアなどが低下に寄与した。最終需要財全体では、携帯電話、端末装置などが上昇に寄与し、乗用車、炭酸飲料などが低下に寄与した。また、生産財では、空気圧機器、輸送機械用エアコンなどが上昇に寄与し、食缶、油圧機器などが低下に寄与した。

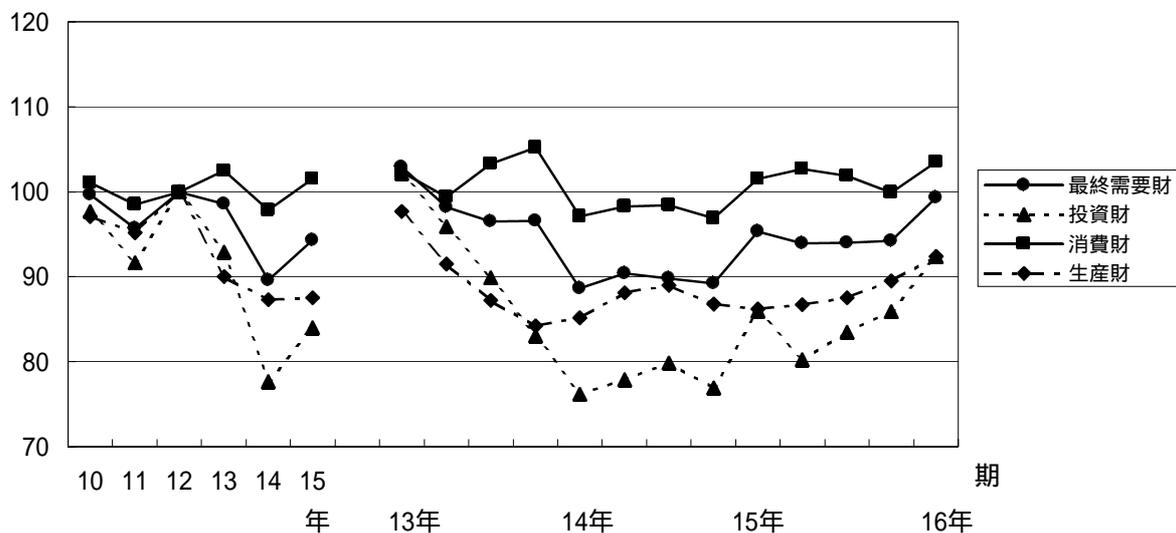
表3 - 1 財別生産の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		14年	15年	15年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
最終需要財	指数	89.6	94.3	95.3	93.9	94.0	94.2
	増加率(%)	9.1	5.2	6.8	1.5	0.1	0.2
投資財	指数	77.7	84.0	86.0	80.2	83.5	85.9
	増加率(%)	16.4	8.1	11.8	6.7	4.1	2.9
資本財	指数	71.6	82.4	85.8	76.6	81.6	84.9
	増加率(%)	22.3	15.1	20.2	10.7	6.5	4.0
建設財	指数	90.9	87.4	86.2	89.0	88.2	86.6
	増加率(%)	3.7	3.9	3.4	3.2	0.9	1.8
消費財	指数	97.9	101.5	101.5	102.7	101.9	99.9
	増加率(%)	4.5	3.7	4.7	1.2	0.8	2.0
耐久消費財	指数	88.2	102.7	101.3	104.7	101.2	102.8
	増加率(%)	14.5	16.4	9.4	3.4	3.3	1.6
非耐久消費財	指数	101.2	101.0	101.9	102.5	101.0	99.0
	増加率(%)	1.1	0.2	3.3	0.6	1.5	2.0
生産財	指数	87.3	87.5	86.2	86.7	87.5	89.5
	増加率(%)	3.0	0.2	0.7	0.6	0.9	2.3
鉱工業用生産財	指数	87.5	87.8	86.5	86.8	87.9	89.9
	増加率(%)	2.9	0.3	0.7	0.3	1.3	2.3
その他用生産財	指数	72.9	70.7	73.4	75.2	65.3	68.8
	増加率(%)	16.3	3.0	10.9	2.5	13.2	5.4

図3 - 1 財別生産の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(2) 出荷 - 資本財が2年ぶりに上昇 -

平成15年の出荷動向を財別にみると、資本財（対前年比26.1%、以下同じ）が上昇に寄与し、非耐久消費財（1.1%）などが低下に寄与した。資本財では、普通トラック、端末装置などが上昇に寄与し、非耐久消費財では、炭酸飲料、処理牛乳などが低下に寄与した。最終需要財全体では、普通トラック、携帯電話などが上昇に寄与し、乗用車、炭酸飲料などが低下に寄与した。また、生産財では、空気圧機器、輸送機械用エアコンなどが上昇に寄与し、油圧機器、機械部品などが低下に寄与した。

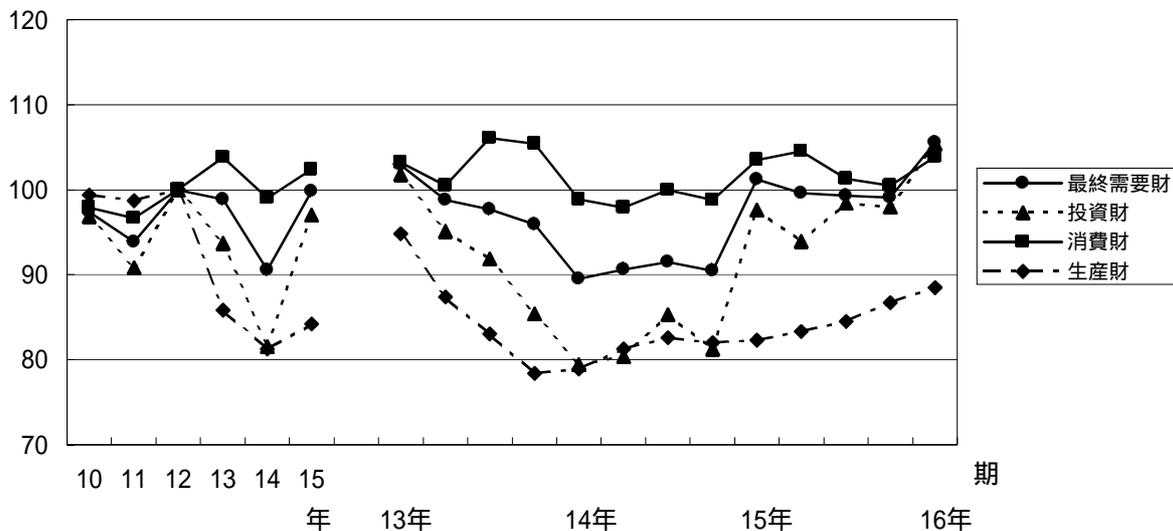
表3-2 財別出荷の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		14年	15年	15年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
最終需要財	指数	90.6	99.8	101.2	99.6	99.3	99.1
	増加率(%)	8.4	10.2	11.8	1.6	0.3	0.2
投資財	指数	81.6	97.0	97.6	93.9	98.4	98.0
	増加率(%)	12.9	18.9	20.0	3.8	4.8	0.4
資本財	指数	78.3	98.7	99.0	94.7	100.4	100.7
	増加率(%)	16.1	26.1	26.0	4.3	6.0	0.3
建設財	指数	92.9	91.2	91.8	91.3	91.8	90.1
	増加率(%)	2.2	1.8	0.7	0.5	0.5	1.9
消費財	指数	99.0	102.4	103.5	104.5	101.3	100.5
	増加率(%)	4.6	3.4	4.8	1.0	3.1	0.8
耐久消費財	指数	95.3	105.1	104.8	109.8	101.5	104.2
	増加率(%)	9.6	10.3	6.1	4.8	7.6	2.7
非耐久消費財	指数	101.6	100.5	101.6	102.3	99.9	98.6
	増加率(%)	1.1	1.1	3.0	0.7	2.3	1.3
生産財	指数	81.2	84.2	82.3	83.3	84.5	86.7
	増加率(%)	5.4	3.7	0.4	1.2	1.4	2.6
鉱工業用生産財	指数	81.3	84.4	82.3	83.4	84.8	87.0
	増加率(%)	5.2	3.8	0.0	1.3	1.7	2.6
その他用生産財	指数	72.8	70.7	73.9	74.5	64.4	70.0
	増加率(%)	16.5	2.9	11.3	0.8	13.6	8.7

図3-2 財別出荷の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(3) 在庫 - 鉱工業用生産財が4年連続の上昇 -

平成15年の在庫動向を財別にみると、鉱工業用生産財（対前年比6.5%、以下同じ）が上昇に寄与し、耐久消費財（18.6%）などが低下に寄与した。鉱工業用生産財では、空気圧機器、はん用内燃機関などが上昇に寄与し、耐久消費財では、油圧機器、アルミニウム圧延製品などが低下に寄与した。最終需要財全体では、コードレスホン、通信用電線・ケーブルなどが上昇に寄与し、カーステレオ、完成自動車などが低下に寄与した。また、生産財では、空気圧機器、はん用内燃機関などが上昇に寄与し、油圧機器、アルミニウム圧延製品などが低下に寄与した。

表3-3 財別在庫の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		14年	15年	15年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
最終需要財	指数	101.6	90.3	104.0	92.2	80.1	85.2
	増加率(%)	1.8	11.1	2.3	11.3	13.1	6.4
投資財	指数	100.9	94.6	106.5	97.1	84.9	90.8
	増加率(%)	4.6	6.2	5.4	8.8	12.6	6.9
資本財	指数	102.9	95.1	114.5	98.9	80.0	90.1
	増加率(%)	11.1	7.6	9.4	13.6	19.1	12.6
建設財	指数	98.0	93.9	96.7	94.1	92.5	92.4
	増加率(%)	4.0	4.2	0.6	2.7	1.7	0.1
消費財	指数	102.3	85.6	102.2	86.3	74.9	78.7
	増加率(%)	1.1	16.3	0.5	15.6	13.2	5.1
耐久消費財	指数	107.6	87.6	109.2	89.5	73.7	77.5
	増加率(%)	3.9	18.6	2.4	18.0	17.7	5.2
非耐久消費財	指数	89.6	80.7	84.7	79.0	78.4	80.8
	増加率(%)	12.8	9.9	3.0	6.7	0.8	3.1
生産財	指数	108.0	114.9	112.2	116.2	116.1	115.0
	増加率(%)	0.9	6.4	2.1	3.6	0.1	0.9
鉱工業用生産財	指数	108.4	115.4	112.7	116.6	116.5	115.6
	増加率(%)	1.0	6.5	2.2	3.5	0.1	0.8
その他用生産財	指数	91.9	96.2	94.4	101.3	101.2	88.2
	増加率(%)	1.2	4.7	1.3	7.3	0.1	12.8

図3-3 財別在庫の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

